

Red Hat OpenShift Platform PlusのTotal Economic Impact™

注目すべき数字



ROI

203%



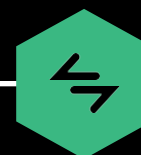
メリットのPV

\$6.92M



NPV

\$4.63M



回収期間

12カ月

モダンアプリケーション開発では、コンテナ重視の傾向が強まっています。コンテナは、仮想マシンよりも迅速に展開が可能で、効率的に運用できます。クラウドによってコンテナを大規模に展開できるため、これまでのコンテナ戦略は企業のクラウド戦略と密接に関係していました。組織がクラウド戦略をモダナイズする際には、コンテナやその他のクラウドネイティブテクノロジーが議論の中心となります¹。

Red Hat [OpenShift Platform Plus](#)は、オープンソースのKubernetesやその他のアップストリームプロジェクトをベースに構築された企業向けハイブリッドクラウドアプリケーションプラットフォームであり、企業におけるアプリケーションの大規模な構築、導入、実行を可能にします。OpenShift Platform Plusを使用することにより、組織はオンプレミス、クラウド、エッジ環境にコンテナ化したアプリケーションを配布することができます。Red HatのOpenShift Platform Plusには管理、セキュリティ、ストレージの機能が搭載されています。

Red HatはForrester Consultingに、Total Economic Impact™ (TEI : 総経済効果) 調査の実施およびOpenShift Platform Plusの展開時に想定される投資回収率 (ROI) の検証を委託しました。

この投資がもたらすメリット、費用、リスクをより明確に理解するために、ForresterはOpenShift Platform Plusの使用経験を有する4人の代表者にインタビューしました。Forresterは、インタビュー対象者の体験を、従業員1万人、年間売上50億ドルのグローバル複合組織1社に集約しました。

OpenShift Platform Plus導入以前、インタビュー対象者の組織では仮想マシンを使用しており、OpenShift Container Platformの利用を開始していた組織もありました。それらの組織は、クラウドネイティブな開発に注力したいと考えていましたが、「クラウドネイティブのアプリケーション開発にインフラが適していない」、「アプリケーションの障害やダウンタイムが発生する」、「アプリケーションの迅速な拡張が困難」、「アプリケーションのリリースやアップグレードに時間がかかりすぎる」といった課題を抱えていました。

OpenShift Platform Plusの導入により、インタビュー対象者の組織はそのような課題を克服し、



[調査の完全版はこちら](#)

ソフトウェア開発者の生産性の向上、アプリケーションのダウンタイムの低減、Kubernetesの使用経験を持つDevOpsエンジニアの追加雇用の回避を実現しました。

主な調査結果

定量化されたメリット：3年間のリスク調整後の現在価値（PV）によって、複合組織にとってのメリットが次のように定量化されました。

- ソフトウェア開発者の生産性が10%向上。**
 OpenShift Platform Plusにより、ワークフローの自動化、コラボレーションの効率化、アプリケーションの迅速かつ容易な拡張が実現し、チームによるコード品質チェックも容易になりました。さらに、DevOpsワークフローとセキュリティの統合（DevSecOps）により、脆弱性のスキャン、監視、デバッグを迅速に実行できるようになりました。OpenShift Platform Plusを導入した結果、複合組織におけるソフトウェア開発者1人当たりの生産性が年間7,746ドル向上し、3年間で310万ドルのメリットが得られました。
- アプリケーションの年間ダウンタイムが1ユーザー当たり24時間減少。** OpenShift Platform Plusの導入で（サーバーを停止させるのではなく）特に障害発生時のワークロード再分配とダウンタイムを最小限に抑えるローリングアップデートが可能になったため、ダウンタイムの短縮とエンドユーザーの生産性の向上が実現されました。OpenShift Platform Plusを導入した結果、複合組織はアプリケーションのダウンタイムを原因とする生産性低下をエンドユーザー1人当たり年間387ドル削減でき、3年間で230万ドルのメリットが得られました。
- 5人のDevOpsエンジニアの雇用を回避。** OpenShift Platform Plusには、組織が最新のコンテナ化されたソフトウェア用のアプリケーションプラットフォームを構築する際、自社で開発または統合する必要のあるコンポーネントや管理、サポートが用意されています。テクノロジーリーダーが人材不足に苦慮している中、必要な人材を確保するには時間とコストがかかります²。この複合組織の場合、Kubernetesの使用経験がある需要の高いDevOpsエンジニア5人の採用を回避できるため、3年間で150万ドル削減しています。

定量化できないメリット：また、この複合組織では以下に挙げる定性的なメリットが得られました。

- セキュリティ体制の強化。** Red HatのAdvanced Cluster Security for Kubernetesは、セキュリティ脆弱性の迅速かつ的確な特定、分析、解決を可能にします。
- DevOpsエンジニアとソフトウェア開発者のスキル強化。** DevOpsエンジニアは、組織のソフトウェア開発者がアプリケーション開発に必要なITインフラストラクチャ関連の業務に費やす時間を減らし、アプリケーション開発に時間を費やすことで生産性を向上できるような、コンテナプラットフォームの導入と管理の方法を習得したいと考えています。
- ソフトウェアのリリースとアップデートのスピードと頻度が向上。**
- ITインフラコストの削減。**
- 運用・管理コストの削減。**

サマリー：代表者へのインタビューと財務分析の結果、複合組織は導入から3年間で229万ドルのコストに対して692万ドルの利益を獲得し、正味現在価値は463万ドル、ROIは203%となっています。

「Red Hat OpenShift Platform Plusは、アドオンが付属したワンストップショップのコスト効率の高いコンテナプラットフォームです。モノリシックなアプリケーションからマイクロサービスに移行するITモダナイゼーション戦略の重要な一翼を担っています」

サービスオーナー、ITプロフェッショナルサービス

注意事項

読者は以下の点に留意する必要があります。

- 本調査は、Red Hatからの委託を受け、Forrester Consultingが実施しています。競合分析を意図したものではありません。
- Forresterは、他の組織が達成しうるROIについては一切の想定を行っていません。Forresterは読者に対し、このレポートで提示されるフレームワークの範囲内で独自の予測を導き出し、Red Hat OpenShift Platform Plusへの投資の妥当性を判断することを強くお勧めします。
- Red Hatは内容を確認した上でForresterにフィードバックを提供しましたが、Forresterはこの調査とその結果に対する編集権限を有しており、Forresterの結果に矛盾する、またはその意味をあいまいにする変更は受け付けていません。
- Red Hatはインタビューの対象となる顧客を紹介しましたが、インタビューには参加していません。

Forrester TEIについて

Total Economic Impact™ (TEI : 総経済効果) は、テクノロジーに関する企業の意思決定プロセスを強化し、ベンダーが製品やサービスの価値提案をクライアントに伝えるのを支援するためにForrester Researchが開発した手法です。TEI手法は、企業が経営陣や取引に伴うその他の利害関係者に対してIT構想の具体的な価値を証明、正当化、現実化するのに役立ちます。TEI手法は、メリット、コスト、リスク、柔軟性という4つの要素に基づいて投資価値を評価します。 <https://go.forrester.com/consulting/content-marketing-consulting/>

© Forrester Research, Inc. All rights reserved.

付録：巻末注釈

¹ 出典：「Executive Guide 2022: Cloud (エグゼクティブガイド2022：クラウド)」、
Forrester Research, Inc.、2022年2月21日

² 出典：「A Skills-Based Talent Strategy Is Central To An Adaptive Organization
(適応力のある組織の中心的な役割を担うスキルベースの人材戦略)」、
Forrester Research, Inc.、2022年9月26日